

第10回

# 東海三県 小児在宅医療研究会

医療的ケア児法施行後3年が過ぎ、医療的ケア児者の在宅生活が進む中、  
小児期から学童期、成人期以降までライフステージの先を見通した、切れ目のない支援が求められています。  
各県の取組が進められている事例を基に、ライフステージを繋ぐ支援について皆様と共有し、  
更なる切れ目のない支援体制の充実につなげる契機にしたいと思います。

テーマ **医療的ケア児のライフステージを繋ぐ支援**

日時 令和7年 **1月26日(日)**  
13:00~17:00 (開場・受付12:00)

会場 **じゅうろくプラザ 2階ホール**  
(JR岐阜駅隣接 岐阜県岐阜市橋本町1丁目10-11)

定員  
**400名**  
参加無料

## PROGRAM プログラム

13:00~13:10 **開会あいさつ**

丹藤 昌治 岐阜県健康福祉部長

13:10~14:15 **基調講演**

「0歳から医療的ケア児のライフステージを考える」

<座長> 大西 秀典 岐阜大学大学院医学系研究科小児在宅医療教育支援センター センター長  
<演者> 市橋 亮一 医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック 理事長

14:30~16:50 **シンポジウム**

<座長> 夏目 淳 名古屋大学大学院医学系研究科 障害児(者) 医療学寄附講座 特任教授  
澤田 博文 三重大学医学部附属病院 小児・AYAがんトータルケアセンター センター長  
山本 崇裕 岐阜大学大学院医学系研究科 小児在宅医療教育支援センター 医師

●発表 14:30~15:45

**岐阜県** 「当院における在宅移行後の支援の現状と課題~もしものときのために~」

野村 彩 大垣市民病院 新生児集中ケア認定看護師 小児病棟看護師長

**三重県** 「津市における医療的ケア児の就園・在園支援」

本田 美奈 津市健康福祉部保育こども園課(兼)津市相愛保育園 看護師

**愛知県** 「生活を支える視点として大切なこと」

中山 恵子 有限会社心の泉 代表取締役

●総合討論 16:00~16:50

16:50~17:00 **閉会あいさつ**

久保田 一生 岐阜大学大学院医学系研究科 小児在宅医療教育支援センター 医師

## 【行事名】

第10回東海三県小児在宅医療研究会

## 【期間】

1月26日(日)

## 【場所】

じゅうろくプラザ2階ホール

## 【情報保障】

手話通訳・要約筆記あり

## 【事前申込】

必要(申込は終了しています)

お問い合わせ  
(事務局)

岐阜県健康福祉部医療福祉連携推進課 障がい児者医療推進係

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1 TEL(058)272-1111(代表) 内線(3284) (平日8:30~17:15 土、日、祝日は受付不可)